

平成25年度事業報告書

社会福祉法人 緑友会

平成26年5月23日 理事会承認版

目 次

法人本部	3
理事会	3
法人運営状況	3
職員配置状況	5
職員入退職	6
職員研修（外部研修）	7
職員研修（内部研修）	12
職員研修（ヘルパー内部研修）	15
研修委員会 総評報告	16
防災訓練	19
小川ホーム	20
1. 入退所の状況	20
2. 処遇の状況	23
3. 研修生・ボランティアの受け入れと地域福祉	29
4. 各係	30
5. 栄養・給食関係	32
短期入所生活介護	35
小川ホームデイサービスセンター	36
1. 月別実績	36
2. 要介護度・年齢別利用者数	36
3. 移動方法別利用者数	37
4. 地域別利用者数	36
5. 行事	38
小川ホームホームヘルプサービス	39
小川ホーム介護計画センター	41
地域包括支援センター小川ホーム	42

法人本部

○理事会

法人及び各事業運営についての諸議案が審議、決議された。

次数	開催日	出席状況	主な議題
66	平成25年 5月24日(金曜日) 午後5時15分～	理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度事業報告 案 平成24年度収支決算報告 案 積立金の繰り入れに関する案 高額出納・補助金出納に関する案 平成24年度 監事監査報告 及び資産証明額・資産登記の承認案 平成23年度監事監査報告 平成25年度処遇改善加算申請について
67	平成25年 6月28日(金曜日) 午前10時00分～	理事 6名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> 所轄庁変更に伴う定款変更について
68	平成26年 1月24日(金曜日) 午後5時15分～	理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 補助金 及び 高額な出納に関する案 平成25年度第1回補正予算案 平成26年度業務委託指名競争入札実施に関する案 国土交通省 建築物省エネ改修推進事業を用いた助成申請案
69	平成26年 3月20日(木曜日) 18時00分～	理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 高額取引に関する承認案 平成26年度業務委託指名競争入札実施報告 及び 契約に関する案 平成26年度 消費税増税に伴う介護保険単位数の変更について 平成26年度事業計画案 平成26年度収支予算案(社会福祉法人新会計基準による) 地域包括支援センター人員配置変更に伴う運営規定変更案 役員改選に関する議案
70	平成26年 3月20日(木曜日) 19時00分～	理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 理事長の選任(互選)について 職務代理理事2名を理事長が指名

○法人理事・監事

平成25年度で役員任期は満了し、3月20日第69回理事会で予選がなされ、全会一致で承認され、全役員が留任となった。また第70回の理事会理事の互選によって菅野徹夫理事が理事長に再任することとなった。平成26年3月26日から二年間の任期の役員は、次の通りの各氏となった。

理事長	菅野徹夫				
理事	市東和子	白石欣彦	関谷栄子	高木好男	増田英男
監事	基太村壽三郎	兒島富士男			

○介護保険改正

平成26年度4月に消費増税があり、このため介護保険単位数が経費に係る増税差額分として0.63%上乘せになる。ことから3月にその準備や契約書の改正を行った。

○福祉サービスの第三者評価の受審

平成26年7月25日から10月29日にかけて、入所者への聴き取り調査、職員及び管理者への分析シート調査などを実施した。調査機関は協同組合建設経営センターで、介護サービス情報同様に東京都福祉サービス評価推進機構のホームページに掲載され公表されている。

○協力医療機関と嘱託医師の変更と追加

平成24年に引き続き、協力医療機関として「南台病院」に委託し、内科の定期診療は南台病院の下山克也医師に継続委託した。また「医療法人社団 千実会」と協力医療機関契約を締結し、後藤雄一医師に定期診察をしていただいている。また精神科は「新小平クリニック」の富田医師に依頼していたが、先生のご都合で平成26年度については契約を頂けず、代わって「小平駅前クリニック」の伊藤敬雄医師と契約を行っている。歯科は引き続き「松浦訪問歯科」と「ハートフル歯科」の2院に依頼し、訪問歯科診療にて治療を行っている。

○インフルエンザ・ノロウイルス対策

平成25年11月よりインフルエンザの流行に備え、特養利用者及び職員全員を対象に南台病院に委託し、下山医師の来訪時に予防接種を行った。またノロウイルス対策として、一年を通しリバルス希釈液他による感染予防策の実施を行ってきた。結果として利用者の発症はなかった。

○パソコンの大幅入れ替え

Microsoft 社が WindowsXP を更新しないことを発表したことから、従来機の入替えと、今後のデジタル化に備えパソコンの整備を行った。その結果年度末までに両者を合わせて33台の配備となっている。同時にNASサーバーを導入し、文書等の知的財産を機器の故障等で喪失することの無いように、バックアップシステムを構築した。

○大規模修繕の計画

間もなく築20年を迎え設備の老化が散見しており、大規模修繕の計画のため、当施設の建立に深く関わっている(株)新環境設計に継続相談を行っている。平成26年度には電気・設備・躯体等の大規模調査を実施し、東京都の補助金等の申請をしながら修繕の実施を行う計画である。

○法人研修会の充実

労働局の補助金に申請し採択され、STSラーニングの寒河江講師を招き、集中的な研修会が実現した。また当法人理事である白梅学園大学の関谷栄子教授を招き、研修会を計2回開催することができた。

○交換研修会の実施

あきる野市の草花苑と協約を結び、職員の交換研修を平成24年度から開始し、25年度も継続して行った。外部の施設を視察することの少ない介護職員にとって、有効な機会となり、これによって自施設の改善のヒントを得ることができることも多くなっている。

○災害時における施設利用等に関する協定

小平市市民生活部防災安全課と市内の高齢者施設とが会合を以て、今後の地域防災について検討を行った。その結果、災害時に地域住民のために、施設ごとに会議室や食堂等の空きスペースを小平市に提供し、市の職員により二次避難所を運営する協定を行った。

○送迎車整備補助の採択

日本財団に車両導入の助成金申し込みを行い、平成25年11月に採択され、翌年2月に納車となった。車両は日産キャラバンで、主にデイサービスの送迎の運行を行っている。

○施設行事の充実

恒例の夏祭りに加え、11月10日にバザーを行った。バザーの実施に加え、模擬店を開催し、地域住民との交流を果たすことができた。

○アクティブ福祉 in 東京

10月3日 高塚・古川介護職員両名が、東京都社会福祉協議会主催のアクティブ福祉 in 東京にて、「ちょっと待って何をするの」をテーマに発表の機会を得て出場し、大盛況の評価を得ることができた。これを機に、毎年に参加を目標に取り組んでゆくこととなった。

○社会福祉法人新会計基準への移行

早期に社会福祉法人新会計基準への移行に取り組み、㈱TKC社の会計業務ソフト、FX4クラウド社会福祉法人会計用を導入し、契約税理士の指導の下、迅速かつ正確な業務を同時に複数名の職員で履行することが可能となった。

○法人職員人事（異動・昇格）

生活健康課健康係長	H25. 7. 31 退職退任：宗像町子	後任なし
通所介護 主任	前任なし	H25. 10. 1 昇格：池高真一
介護計画介護支援専門員	(H25. 3. 31 退任：宮永桃子)	H25. 4. 1 着任：大橋慧媛
訪問介護サービス提供責任者	(H25. 3. 31 異動：大橋慧媛)	H25. 4. 1 着任：萩原洋子

職員入退職

(常勤職員)

職 種	入職者	日付	職 種	退職者	日付
看護職員	河村 瞳	25. 4. 1	看護職員	河村 瞳	25. 5. 31
看護職員	矢村 恵美	25. 6. 1	看護職員	宗像 町子	25. 7. 31
看護職員	杉本 百合子	25. 7. 1	介護職員	山岸 浩世	25. 9. 30
介護職員	一條 裕	25. 8. 12	介護職員	北川 陽子	25. 10. 31
介護職員	本田 礼子	25. 9. 1	介護職員	石毛 和雄	25. 10. 31
介護職員	池澤 美幸	25. 9. 16	介護職員	河西 恵子	25. 10. 31
			介護職員	小椋 幹子	26. 3. 31

職員配置状況

平成25年3月31日現在

職 種	介護老人福祉施設 (短期入所を含む)		通所介護		訪問介護	
	基準	定員	基準	定員	基準	定員
施設長	1	1				
事務員		3 [内兼務 1]				
看護職員	3	3 (1)	1 (1)	(3(内兼務 2))		
相談員	1	1	1 (1)	2[内兼務 1] (1)		
介護職員	24	24 (25)	6	1[内兼務 1] (13)		
ヘルパー					9	4 (22)
介護支援専門員	1	[兼務 7]				
管理栄養士	1	1				
医師	必要数	(4)				
精神科医師	(1)	(1)				
訓練指導員	1	1 (1)	1	1 (2 (内兼務 2))		
業務員		(4)				
警務員		(6)				
専従運転士				(2)		
計	32 (1)	35 (41) [兼務 6]	9 (2)	3 (17)	9	4 (22)

職 種	居宅介護支援		地域包括支援	
	基準	定員	基準	定員
事務員			(1)	[兼務 1]
看護職員			1	1
相談員			1	1
介護支援専門員	5 (1)	5 (1) [他兼務 1]	3 (3)	3 (3)
計	5 (1)	5 (1) [他兼務 1]	5 (3)	5 (3) [兼務 1]

() は非常勤職員

職員研修

(1) 外部研修

研修内容 P1	研修主催者	研修者	研修日 (1日目)	その他 (2日目以降)
高齢者に多く見られる疾患	東京都介護福祉会	松井清美	H25. 4. 20	
抄録記入に関する研修	東社協	古川千鶴子 高塚義久	H25. 5. 8	
認知症の医学的理解とこれからの認知症ケア	東京都介護福祉会	池田まゆ美	H25. 5. 12	
自立支援の考え方の基礎を学ぼう	小平市地域包括支援センター 中央センター	深瀬敦子 大橋慧媛 加藤桂子 池田まゆ美	H25. 5. 15	
生活相談員研修会	東社協	高橋利枝	H25. 5. 17	
課題整理表(案)・評価表(案)実証事業報告会	東京都介護支援専門員研究協議会	佐藤実	H25. 5. 18	
職場リーダーに求められるマネジメント実践	福祉経営ネットワーク	野本琢也	H25. 6. 3	6. 17
第49回関東ブロック総会	関東ブロック老人福祉施設研究総会	白石欣彦 野島邦義	H25. 6. 4	6. 5
虐待事例分析報告会	東京都福祉保健局	野本琢也 中野香美	H25. 6. 6	
介護記録研修会	お茶の水ケアサービス学院	萩原洋子	H25. 6. 11	
介護保険居宅事業連絡会	東京都社会福祉協議会	上田典子 佐藤実	H25. 6. 14	
社会福祉法人新会計基準研修	東京都福祉保健局	高橋直樹	H25. 6. 17	
認知症介護研修公開講座	東京都福祉人材センター	上田典子	H25. 6. 19	6. 2
デイサービス分科会：デイサービスの今後について考える～より良いサービス提供のために～	東京都社会福祉協議会	大野友紀 加藤希	H25. 6. 21	
社会福祉事業従事者人権研修Ⅱ	東京都福祉保健局	野島邦義	H25. 6. 28	
介護職員のためのポジショニング研修会	東社協	鎌田英子	H25. 7. 1	7. 8
東京都介護支援専門員更新研修	東京都	古川千鶴子	H25. 7. 5	7. 17・7. 18
小平市ケアプラン研修 自立支援に資するケアマネジメントとは!?	小平市地域包括支援センター 中央センター	松田弥生 吉田つや子 上田典子 永畑加代子 平間亜矢子 佐藤実	H25. 7. 17	
認知症アセスメントシート DASC 研修	東京都福祉保健局	松田弥生	H25. 7. 19	
それぞれの場所での看取り	高齢者施設福祉部会	田倉巳幸	H25. 7. 19	

ケアマネスキルアップ研修：骨・運動器疾患のある方のマネジメント	東京都介護福祉士会	池田まゆ美 大橋慧媛	H25. 7. 20	
居宅サービス計画ガイドライン活用セミナー	全国社会福祉協議会	大橋慧媛	H25. 7. 24	7. 25
アクティブ福祉研究発表事前研修会	東社協	古川千鶴子	H25. 7. 24	
東京都地域包括支援センター初任者職員研修	東京都福祉保財団	深瀬敦子	H25. 7. 25	7. 26
職場でのコミュニケーションを活性化するために	東京都社会福祉協議会	池高真一	H25. 7. 25	
関係性が作りにくい家族との面接技術～高齢者虐待事例をもとに～	東京都介護福祉士会	中野香美	H25. 7. 27	
区市町村見守り担当者連絡会	東京都福祉保健局	吉田つや子 中野香美	H25. 8. 6	
東京都主任介護支援専門員研修	東京都介護支援専門員研究協議会	永畑加代子	H25. 8. 6	8月10・21・25・9月2・21・22・10月5・12・14・26
平成25年度指定更新事業者研修	東京都	野島邦義	H25. 8. 6	
東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	東京都介護支援専門員研究協議会	永畑加代子 吉田つや子	H25. 8. 8	9. 12・9. 27
高齢者虐待への対処と成年後見人制度	多摩西北部高齢・障害者サポート協会	中野香美	H25. 8. 10	
東京都認知症介護実践者研修	東京都	野島邦義	H25. 8. 19	8. 20・8. 22・8. 23・8. 27・9. 13
在宅医療サポート介護支援専門員研修	東京都介護支援専門員研究協議会	中野香美	H25. 9. 1	9月16・27・10月4・16・17・27
認知症ケアに関する研修会（基礎編）	東京都社会福祉協議会	野本琢也 小椋幹子 池高真一	H25. 9. 5	
高齢者のための環境整備	東京都福祉保健財団	大橋慧媛	H25. 9. 6	
精神疾患の理解と具体的なケア	東京都介護福祉士会	松井清美	H25. 9. 7	
高齢者逆チア事例に対する面接・協働システム・カンファレンスの進め方	AAA研究会	野本琢也	H25. 9. 7	9. 8
介護セミナー：認知症の最新の考え方と実践～落ち着くキーワードは泣く・笑う～	デイサービス宅老所しぐれ屋	大野友紀 加藤希 池高真一 鹿内真由美 小野静子	H25. 9. 11	

小平市ケアマネ連絡会	小平市ケアマネ連絡会	佐藤実 上田典子	H25. 9. 12	
社会福祉事業従事者 人権研修 I	東京都福祉保健局	安川綾子 田倉巳幸 鎌田英子	H25. 9. 13	H25. 10. 4 H25. 11. 1
介護職員による痰の 吸引実施の指導看護師 研修	東京都福祉保健財団	橋本たまえ	H25. 9. 18	9. 19
サービス担当者会議 を学ぶ	小平市健康福祉部	佐藤実 加藤桂子	H25. 9. 20	
介護支援専門員更新 研修	東京都福祉保健局	松井清美	H25. 9. 30	10月1・7・ 8・16・11月 18・19
アクティブ福祉 in 東 京 13	東社協	高塚義久 古川千鶴子 鎌田英子 田倉巳幸 堀栄子 吉田英美 野島邦義	H25. 10. 3	
ケアプラン作成まで の過程～利用者の状 態をどう読み解くか ～	在宅医療連携推進協 議会研修会	池田まゆ美	H25. 10. 5	
平成 25 年度東京都高 齢者権利擁護推進事 業「介護サービス事 業管理者高齢権利擁 護研修」	東京都福祉保健財団	堀栄子	H25. 10. 10	
見守りサポーター養 成研修 講師養成研 修	東京都福祉保健局	中野香美	H25. 10. 22	
高齢者の権利擁護と 虐待防止について	小平市介護サービス 事業所連絡会	萩原洋子 上田典子 大橋慧媛	H25. 10. 29	
感染症予防対策講習 会 感染拡大防止の ポイント	多摩小平保健所	安川綾子 堀栄子	H25. 10. 30	
認知症のある人の福 祉機器シンポジウム	国立障害者リハビリ テーションセンター 研究所	中野香美	H25. 11. 4	
平成 25 年東京都老人 福祉施設等感染症対 策指導者養成研修	東京都福祉保健局	野島邦義	H25. 11. 7	
認知症の方が住み慣 れた地域で暮らし続 けるために	多摩小平保健所	佐藤実	H25. 11. 11	
介護支援専門員実務 従事者基礎研修	東京都介護支援専門 員研究協議会	大橋慧媛	H25. 11. 13	12. 4・ H26. 2. 3 2. 4・2. 25
典型事例から学ぶ!! 廃用症候群のリハビ リ	小平市介護サービス 事業	大野友紀 中野香美	H25. 11. 15	
典型事例から学ぶ!! 廃用症候群のリハビ リ	小平市介護サービス 事業	上田典子	H25. 11. 15	
課題整理表をやって みましょう	小平ケアマネ連絡会	佐藤実	H25. 11. 15	

「基本を知ってみんなが得する看護職のリハビリテーション」	東社協	杉本百合子	H25. 11. 15	
福祉関係者のための成年後見活用講座	小平市健康福祉部	加藤桂子	H25. 11. 19	
小平市ケアプラン研修	包括中央センター	佐藤実	H25. 11. 19	
ボランティアコーディネーター研修	東京都ボランティア・市民活動センター	安川綾子	H25. 11. 21	
平成 25 年度福祉職員職務階層別研修～指導的職員研修～	東社協	野島邦義 鎌田英子	H25. 11. 27	11. 28・12. 3・12. 4
平成 25 年度福祉職員職務階層別研修～指導的職員研修～	東社協	野島邦義 鎌田英子	H25. 11. 27	11. 28・12. 3・12. 4
生活相談員の仕事力・支援力を高めよう	東社協	高橋利枝	H25. 11. 28	
東京都キャラバンメイト養成研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	野本琢也	H25. 12. 5	
介護実習事例検討会	白梅学園	古根村奈々	H25. 12. 7	
主任介護支援専門員連絡会	小平市	佐藤実	H25. 12. 12	
介護職員による痰の吸引実施の指導看護師研修	東京都福祉保健財団	矢村恵美	H25. 12. 12	12. 13
ケアマネ更新研修専門Ⅲ	東京都福祉保健局	平間亜矢子	H25. 12. 24	H26. 1. 15 H26. 2. 14
東京都地域包括支援センター現任研修	東京都福祉保健局	中野香美	H26. 1. 17	
家族介護を考えるつどい～地域に開くカフェサロンを作ろう～	東京都左官工業協同組合	中野香美 吉田つや子	H26. 1. 18	
第 5 回小平市ケアプラン研修	小平市地域包括支援センター 中央センター	佐藤実	H26. 1. 22	
多様性への気づき～バリアフリーはここから～	小平市	松田弥生 出井かおり	H26. 1. 24	
会計決算実務研修	東社協	長島弘樹	H26. 1. 28	1. 29
地域包括ケアシステムを問う	白梅学園大学	小林美穂	H26. 2. 2	
法人交流研修	草花苑	高塚義久	H26. 2. 3	2. 4・2. 5・2. 6・2. 7・2. 8・2. 9
平成 25 年度第 4 回小平市介護サービス事業者連絡会	小平市健康福祉部介護福祉課 小平ケアマネ連絡会	佐藤実	H26. 2. 3	
全国包括・在宅介護支援センター研修会	全国包括・在宅介護支援センター協議会	小林美穂	H26. 2. 7	

通所系サービスにおけるリハビリのあり方について	東社協	加藤希	H26. 2. 7	
次期介護保険制度改正・報酬改定の動向～在宅介護分野を中心に～	東社協	野本琢也	H26. 2. 12	
生活行為向上マネジメントツールの紹介	北多摩北部医療圏脳卒中 NW 委員会	小林美穂	H26. 2. 13	
介護事例発表会 実習総合反省会	東京医療秘書専門学校	吉田英美 塩野谷誠	H26. 2. 17	3. 3
ボランティアの受入姿勢を学ぶ	ケアタウン小平	石原裕介	H26. 2. 18	2. 19
新しい地域支援への挑戦	全社協	小林美穂	H26. 2. 24	
認知症サポートキャラバン報告会	全国キャラバンメイト連絡協議会	松田弥生	H26. 3. 7	
認知症における医療と介護の提携	北多摩北部保険医療圏 山田病院	永畑加代子	H26. 3. 13	
社会福祉施設における組織マネジメント研修会	東京都福祉保健財団	野島邦義	H26. 3. 17	
ニーズに応える「ウリ」の作り方と伝え方	東社協	小林美穂 野本琢也 大野友紀	H26. 3. 18	
三菱東京 USJ 銀行新任研修説明会	東京都ボランティア・市民活動センター	鎌田英子	H26. 3. 18	
平成 25 年度小平市訪問介護事業所連絡会議	小平市 介護福祉課	小椋幹子	H26. 3. 20	
第 5 回小平市介護サービス事業所連絡会議	小平市 介護福祉課	中野香美	H26. 3. 26	
地域ケア会議研修	東京都福祉保健局	中野香美	H26. 3. 26	

(2) 内部研修

研修内容	講師	研修者	研修日
職員相互研修	デイサービス センター職員	古根村奈々	H25. 6. 12 H25. 7. 11
職員相互研修	デイサービス センター職員	野島邦義	H25. 11. 21 H25. 12. 18
法人研修：組織人 スタンス構築研修 <1回目>	寒河江宏 (株) STS ラーニング	< Aグループ > 安川綾子・鎌田英子・田倉巳幸・堀栄子 高橋利枝・高塚義久・野本琢也・佐藤実 上田典子・松田弥生・平間亜矢子・加藤希 小椋幹子・野澤喜美子・大野友紀 野島邦義・白石欣彦・小林美穂・高橋直樹	H25. 6. 10
		< Bグループ > 塩野谷誠・村山大輔・末松治奈・和田千春 古川千鶴子・田辺史子・吉田英美・橋達之 山田芽美・武藤光仁・相原和典・菊池孝明 翁長留美子・橋本たまえ・矢村恵美 中野香美・大橋慧媛・松井清美・萩原洋子 永畑加代子・池田まゆ美・長嶋弘樹	H25. 6. 17
法人研修：組織人 スタンス構築研修 <2回目>	寒河江宏 (株) STS ラーニング	< Aグループ > 安川綾子・鎌田英子・田倉巳幸・高橋利枝 野本琢也・佐藤実・上田典子・松田弥生 平間亜矢子・加藤希・小椋幹子・野島邦義 野澤喜美子・大野友紀・内山亜矢子 白石欣彦・小林美穂・高橋直樹	H25. 7. 16
		< Bグループ > 塩野谷誠・村山大輔・末松治奈・和田千春 古川千鶴子・石原裕介・吉田英美 山田芽美・武藤光仁・相原和典・菊池孝明 翁長留美子・橋本たまえ・矢村恵美 中野香美・大橋慧媛・松井清美・萩原洋子 長嶋弘樹	H25. 7. 22
法人研修：組織人 スタンス構築研修 <3回目>	寒河江宏 (株) STS ラーニング	< Aグループ > 安川綾子・鎌田英子・高橋利枝・堀栄子 高塚義久・野本琢也・佐藤実・上田典子 松田弥生・加藤希・小椋幹子・野島邦義 野澤喜美子・大野友紀・内山亜矢子 小林美穂・高橋直樹	H25. 8. 19
		< Bグループ > 塩野谷誠・村山大輔・末松治奈・和田千春 古川千鶴子・石原裕介・田辺史子・橋達之 川野美紀・武藤光仁・相原和典・菊池孝明 翁長留美子・橋本たまえ・矢村恵美 杉本百合子・永畑加代子・池田まゆ美 中野香美・大橋慧媛・松井清美・萩原洋子 長嶋弘樹・一條裕	H25. 8. 26

法人研修：組織人 スタンス構築研修 ＜4回目＞	寒河江宏 (株) STS ラーニング	＜Aグループ＞ 安川綾子・鎌田英子・田倉巳幸・堀栄子 高橋利枝・高塚義久・野本琢也・佐藤実 上田典子・松田弥生・平間亜矢子・加藤希 小椋幹子・野澤喜美子・内山亜矢子 大野友紀・野島邦義・小林美穂・高橋直樹	H25. 9. 17
		＜Bグループ＞ 塩野谷誠・村山大輔・吉田英美・武藤光仁 相原和典・菊池孝明・本田礼子・矢村恵美 翁長留美子・橋本たまえ・杉本百合子 松井清美・萩原洋子・池田まゆ美 長嶋弘樹	H25. 9. 20
法人研修：組織人 スタンス構築研修 ＜5回目＞	寒河江宏 (株) STS ラーニング	＜Aグループ＞ 安川綾子・田倉巳幸・堀栄子・高橋利枝 野本琢也・佐藤実・上田典子・松田弥生 平間亜矢子・加藤希・小椋幹子・野島邦義 内山亜矢子・白石欣彦・小林美穂 高橋直樹	H25. 10. 15
		＜Bグループ＞ 塩野谷誠・村山大輔・山田芽美・武藤光仁 相原和典・菊池孝明・矢村恵美・長嶋弘樹 翁長留美子・橋本たまえ・杉本百合子 中野香美・松井清美・萩原洋子・大橋慧媛 池田まゆ美・永畑加代子	H25. 10. 21
法人研修：組織人 スタンス構築研修 ＜6回目＞	寒河江宏 (株) STS ラーニング	＜Aグループ＞ 安川綾子・鎌田英子・堀栄子・高塚義久 野本琢也・佐藤実・上田典子・松田弥生 加藤希・野島邦義・野澤喜美子・大野友紀 内山亜矢子・白石欣彦・小林美穂 高橋直樹	H25. 11. 11
		＜Bグループ＞ 塩野谷誠・村山大輔・和田千春・川野美紀 武藤光仁・相原和典・菊池孝明・一條裕 翁長留美子・橋本たまえ・杉本百合子 矢村恵美・中野香美・松井清美・萩原洋子 大橋慧媛・池田まゆ美・永畑加代子 長嶋弘樹	H25. 11. 18
法人研修：認知症を より深く理解するた めに 【事例：入浴拒否】	関谷栄子 (白梅大学)	田辺史子・武藤光仁・相原和典・菊池孝明 半谷三千代・矢村恵美・橋達之・高橋利枝 吉田英美・鎌田英子・堀栄子・杉本百合子 野島邦義・加藤桂子・大野友紀・深瀬敦子 佐藤留美子・野澤喜美子・池田まゆ美 広田祐子・小椋幹子・上田典子・中野香美 吉田つや子・小林美穂	H26. 1. 29

法人研修：認知症をより深く理解するために 【事例：被害妄想】	関谷栄子 (白梅大学)	田辺史子・山田芽美・末松治奈・本田礼子 安川綾子・村山大輔・古根村奈々 古川千鶴子・平間亜矢子・永畑加代子 松田弥生・野本琢也・大橋慧媛・大野友紀 加藤希・出井かおり	H26. 2. 21
救命処置講習会	西里美樹 佐藤幸子 (多摩北部医療センター)	古根村奈々・堀栄子・河村瞳・橋本たまえ 宗像町子・橋達之・武藤光仁・吉田英美 相原和典・鎌田英子・菊池孝明・川野美紀 安川綾子・田倉巳幸・高塚義久・高橋利枝 翁長留美子・塩野谷誠・村山大輔	H25. 5. 9
感染症対策委員会： 高齢者介護施設における感染対策	野島邦義	高橋利枝・高塚義久・菊池孝明・鎌田英子 田倉巳幸・末松治奈・山田芽美・石毛和雄 石原裕介・河西恵子・和田千春・田辺史子 相原和典・古川千鶴子・安川綾子・堀栄子 山岸浩世・吉田英美・眞形玉江・矢村恵美 翁長留美子・橋本たまえ・杉本百合子	H25. 8. 1 2
感染症対策委員会： 嘔吐物処理	堀栄子 安川綾子	池沢美幸・村山大輔・矢村恵美・浅井知子 橋本たまえ・杉本百合子・翁長留美子 古根村奈々・相宗ゆきえ・富士原ゆき 井澤優子・吉田英美・一條裕・末松治奈 和田千春・石原裕介・川野美紀・田倉巳幸 鎌田英子・本田礼子・古川千鶴子・橋達之 菊池孝明・相原和典・武藤光仁・高塚義久 塩野谷誠・園部恵・浜田弘美・糟谷裕子 田辺史子・山田芽美・半谷三千代	H25. 11. 27 28
酸素濃縮器及び携帯酸素の取扱いについて	安川綾子 田倉巳幸	鎌田英子・山田芽美・高塚義久・田辺史子 橋達之・村山大輔・菊池孝明・古根村奈々 相原和典・末松治奈・和田千春・武藤光仁 池沢美幸・古川千鶴子・一條裕・本田礼子 塩野谷誠・石原裕介・川野美紀・糟谷裕子 井澤優子・半谷三千代・浜田弘美	H25. 11. 7 8 10 11 13
倫理綱領について	白石欣彦	粕谷裕子・園部恵・半谷三千代・井澤優子 浜田弘美・山崎理恵	H26. 1. 16 21 22 H26. 2. 21

※平成22年度より研修委員会を設置し、引き続きスキルアップに向け全職員に発信している。

(3) ヘルパー内部研修

※サービス提供責任者が講師を務め、以下の研修会を開催しています。

※法人研修・外部研修は前記(1)(2)の表に記載しています。

年月日	H25. 5. 27	H25. 6. 18	H25. 7. 30	H26. 1. 28	H26. 3. 4	
研修テーマ	高齢者に多く見られる疾患を学ぶ研修会	高齢者に多く見られる疾患を学ぶ研修会	高齢者に多く見られる疾患を学ぶ研修会	ゴミの出し方、分別について	介護食品としての知識を深める	
講師：サービス提供責任者	松井清美	松井清美	松井清美	松井清美	小椋幹子	
中村 敏子	○	○	○	○	○	
佐藤 留美子	○	○	○	○	○	
伊藤 ますみ	○	○	○	○		
柏木 あけみ	○	○	○	○	○	
寺澤 秀子	○		○			
高原 好子	○	○	○	○	○	
羽根 ルミ子	○	○	○	○	○	
宮崎 由貴	○	○	○		○	
広田 祐子	○	○	○		○	
松野 智子	○	○	○	○	○	
原本 敦子	○	○	○	○	○	
齊藤 与志子	○	○	○			
上條 悦子	○	○			○	
豊嶋 尚美	○	○	○	○	○	
伴 直美						
増田 美佳	○	○				
加納 絵理						
王 影欣						
橋本 いづみ	○	○	○	○	○	
坂田 しのぶ	○	○	○	○	○	
細野 雪枝	○	○	○	○	○	
鈴木 今日子	○	○	○			
大杉 ちづる	○	○	○			
松本 淑代	○					
間所 朝子	○	○	○		○	
廣田 公雄	○	○	○	○	○	
中谷 智子	○	○	○	○		
森本 由紀子				○	○	
丸山 朗美				○	○	

(4) 研修委員会 総評報告

研修委員会設置してから4年が経過しました。研修委員会で挙げた課題を基に計画的に実施してまいりました。

研修課題は、6項目ありましたが、すべてを網羅できたわけではありませんでした。そのうち、全体として取組みが特に必要である項目1「法人の目標、方針又研修の意味や目的を職員が理解する」2「高齢者の尊厳、認知症への理解において」、重点的に行いました。

1の課題については、法人研修初となる幹部職員と一般職員に分かれて、それぞれの立場からの研修となりました。研修期間が上期と下期(6ヶ月間)を通して重点的に行い外部講師を招いての「組織人スタンス構築研修」との内容で、取り組みました。職員が、これまで組織という事を特別、意識する事なく仕事をしていたところがありました。研修を受けた事で、改めて組織の一員としてそれぞれの立場で何が出来るのか、何をすべきなのかを考える良い契機(自分の強みや弱みを再認識する)になった事は、全体的にみて一定の評価ができると思います。

2の課題についての研修においては、職員が現場でこんな事例に困っている・悩んでいるテーマを挙げて、講師との打ち合わせを繰り返して、研修に取り組みました。単なる座学でなく、参加型の研修として、グループワークの手法でホーム、在宅の職員が同じテーマで意見交換し各グループから発表は緊張感もあり良かったと思えました。ただ、グループ作成において、ファシリテーター的な人を入れてバランスを取るともっと活発な意見交換が出来たのではないかと思います。

平成27年度には、介護保険の制度改正が待ち構えていて、大きく制度の変化が生じる事になると思います。現場を取り巻く環境はさらにいっそう変わってくる事でしょう。時代の変化に対応しつつ、今後もPDCAサイクルにて法人の研修課題を挙げて取り組んでいきたいと思えます。

今年度の研修内容の詳細(交流研修を含む)は以下の通りになります。

【外部講師を招いた OFF - JT 研修】

第一回

テーマ：組織人スタンス構築研修

対象者：<Aグループ>上階層職員 / <Bグループ>一般層職員

日程：平成25年6月～11月 (各グループ全6回)

時間：18時～20時

講師：株式会社エスティエス ラーニング

寒河江 宏(さがえこう)先生

法人研修 第1回目 研修実施報告書

今回の研修では当施設長年の課題であった「組織力」を高めるため職員階層別研修を実施し、社会人・組織人として持つべき正しい「労働観」「行動」を理解し、職員一人ひとりのスタンス(意識)革新・行動革新に結び付けて行くことを目的に5つの基本スタンス(業績尊重・秩序維持・相互親密・自己成長・共同体)を中心に、利用者や地域のニーズ性をもとに経営思想(理論・哲学)を交えて、当施設の責務・職員

の責務を学ぶことができました。

職員の研修報告書からは、組織で働く上で欠かすことのできない 5 つの基本スタンスを学んだ事で法人責務・目的意識が明確になり、個々の仕事への姿勢や考え方等、自己革新に繋がるような意見もあれば、講義の内容や進め方に意味や疑問を感じる職員もいました。

当施設が今後もこの地で継続的に介護サービスするために、多様化する利用者・社会ニーズに応じていけるような体制を築き、組織全体で向かっていく必要があります。その為にも組織人として職務目的を統一することが重要だと思います。職員一人ひとり様々な価値観はありますが、施設の目的や方向性を理解し、何のために仕事や研修をしているのかを再度認識する。施設や個人の存在価値を高められるよう今後に期待して行きたいと思います。

第二回

テーマ：認知症をより深く理解するために～

①入浴拒否への対応

②被害妄想への対応

日程：①：平成26年1月19日（水） 18：00 ～ 19：30

②：平成26年2月21日（金） 18：00 ～ 19：30

講師：白梅学園大学 教授 関谷 栄子 氏

法人研修 第2回目 研修実施報告書

今回の研修では、昨年度の研修課題の「認知症の理解」について、各セクションの研修ニーズ（入浴拒否・被害妄想）に基づき、各事例を用いてグループワークを中心にその時の状況や場面に応じた対応方法を学ぶことができました。

入浴拒否の事例では、その人の生活スタイルや大切にしていること、「拒否する」という行動ばかりに目を向けるのではなく、真のニーズを引き出すことができるような努力が我々には必要であると気づかされました。また被害妄想の事例では、言動や行動だけに目を向けるのではなく、その人の感情や思いに寄り添い向き合いことで不安や喪失感を緩和する＝安心できる。また、その人を知る事ができ、相手の思いの背景を読みよくきっかけになるという事に気づかされました。この他、グループワークでは、様々な職員と意見交換ができ、視点の違いや刺激になったという意見が多く、ロールプレイで実際に体験することで自分の対応を見直す良い機会になったと思います。

今回の研修では、2つの事例をもとに認知症について研修を行いました。これらの対応は他の認知症の方々への対応にも繋がると思います。今後も認知症について更に研修を継続し、資質向上に努めていきたいと思えます。

【法人内部研修】

職員相互交流研修 実施報告書（特養⇒在宅）

※ 2名 6月、7月、11月、12月（各月1回）

【報告】

職員相互研修について、以下のように報告します。

施設で勤務していると地域の実情やニーズが見えないことに気づかされました。在宅で生活されている利用者宅に訪問させて頂きましたが、在宅で生活を続けていく大変さを感じることができ、常にリスクと隣り合わせにあるという現状でした。もっとサービスを利用したいが介護度が低く実費がかかり利用できない。家族や協力者がいない。この支援はサービス対象外でできない。実情と介護保険が一致していないのではないかと思う場面も多々あり、今の介護保険に大きな課題であると感じました。

サービスのところでは施設と在宅の違いとして、事故の捉え方です。特養は24時間常にサービスを提供しているため、生活上の事故全てに施設側の責任があるが、在宅ではサービス提供時間外のことについては責任が問われないこと。特養は失敗をしても挽回できるチャンス（信頼の回復）があるが、在宅サービスは限られた時間の中で信頼関係を築き、1度の失敗が利用に影響してしまうことがあるということ等が挙げられます。その他、特養職員は設備面で恵まれていると感じました。在宅ではあるものでサービスを組み立てなくてはいけないという応用力と経験が必要であると感じました。

特養では地域性を理解した支援体制の構築するきっかけとしてと、まずは短期入所生活介護の充実を次年度の目標に、より多くの地域の方々に還元できればと思います。

【他法人交流研修】

小川ホーム（特養） ⇄ 草花苑

【研修者】2名 草花苑→小川ホーム 平成26年1月15日～1月24日

小川ホーム→草花苑 平成26年2月 3日～2月 9日

【研修委員会からの課題報告】

1. 利用者一人ひとりの処遇に対する目標、目的の共有化ができない→利用者一人ひとりの処遇において目的や目標において（皆が同じ方向を向いて）理解できるようになる。
 2. 認知症への理解の不足→利用者の尊厳について尊重する事の大切さを再認識する。
 3. 介護におけるコミュニケーション（傾聴）の不足と利用者個別性におけるケアや介護技術の再認識、技術の取得の不足→利用者向き合う事や利用者を知る事の意味を理解する。
 4. レクリエーションの目的や知識不足→レクリエーションをする目的や意味、方法において理解を深める。
 5. 介護保険制度や各事業の内容・認定についての認識不足→ホームの利用者を例にしながら介護保険・介護サービスの仕組みを理解し、自信のセクションの現状を把握できる様にする。
 6. 記録に対する認識と理解の不足→記録の目的と意味（意義）を理解する。
 7. ホーム及び在宅においても様々な緊急事態に遭遇する可能性がある為、訓練しておき、緊急時にも慌てず対応できる様にしていく→AED/心臓マッサージの実施訓練をする。
- 以上のことを報告し、今年度の研修報告とさせていただきます。

防災訓練

実施日	訓練内容	参加者
平成25年5月9日	多摩北部医療センター講師を招聘し救急救命の訓練を実施 ダミーを使用し心臓マッサージ、人工呼吸、AED除細動の訓練	職員 26名 講師 2名
平成25年5月29日	小平消防署 司令補 消防副士長計2名により立入検査受検 指摘事項なし	施設長 防火管理責任者
平成25年8月21日 8月22日	災害時停電による仮設照明・自家発電機作動操作訓練	防火管理責任者 他6名
平成25年9月5日	特養) 夜勤体制による避難訓練 (デイサービス) 日勤体制による避難訓練 (共通) 火災報知器の発報 (想定) 非常放送装置の作動 消火栓・消火器の取扱い スプリンクラーの取扱い 避難滑り台の活用 車椅子での階段誘導実践 布担架での救護訓練	防火管理責任者 施設長 生活健康課長 施設職員 計30名 利用者 (特養) 20名 (デイ) 30名
平成25年10月17日	災害時停電による仮設照明・自家発電機作動操作 仮設電源配線訓練	防火管理責任者 他10名
平成25年11月13日	小平消防署 主催 社会福祉施設における防火安全対策講習会	防火管理責任者 1名
平成26年2月6日	(特養) 夜勤体制による避難訓練 (デイサービス) 日勤体制による避難訓練 (共通) 火災報知器の発報 (想定) 非常放送装置の作動 消火栓・消火器の取扱い スプリンクラーの取扱い 棒と毛布で即席担架訓練	防火管理責任者 施設長 生活健康課長 施設職員 計30名 利用者 (特養) 30名 (デイ) 25名

指定介護老人福祉施設 小川ホーム
事業報告

1. 入所者の状況

(1) 月別入所実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	73	75	71	73	73	73	74
延べ人数	2,117	2,207	2,083	2,189	2,141	2,084	2,123
1日当り	70.6	71.2	69.4	70.6	69.1	69.5	68.5
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	※24年度
件数	73	75	74	74	75	883	873
延べ人数	2,126	2,178	2,228	1,982	2,247	25,705	25,699
1日当り	70.9	70.3	71.9	70.8	72.3	70.4	70.4

＝以下統計資料は平成26年3月31日現在の入所者を対象＝

*長期入院者が常に発生するため1名を先行入所しており、また平成26年3月31日以前より措置入所者出たため、従来定員より2名増で統計しています。

(2) 介護保険者（市・区）別入所者

	措置制度からの継続		介護保険制度後の入所		計
	男性	女性	男性	女性	
小平市	1	1	12	58	72
他市区	0	0	1	2	3
計	1	1	13	60	75

(3) 入所理由

	男性		女性		計	
	主たる理由	従たる理由	主たる理由	従たる理由	主たる理由	従たる理由
身体的	2	1	10	7	12	8
精神的	8	1	25	13	33	14
経済的	1	2	3	3	4	5
家庭的	3	8	21	35	24	43
住宅的	0	1	2	3	2	4
その他	0	1	0	0	0	1
計	14	14	61	61	75	75

(4) 入所前の状況

入所前の状況	男性	女性	計
措置継続（小川ホーム入所継続）	1	1	2
病院から入所（介護保険以降）	1	6	7
自宅から入所（介護保険以降）	6	39	45
老人保健施設から入所（介護保険以降）	4	12	16
その他から入所（介護保険以降）	2	3	5
計	14	61	75

(5) 退所理由

理 由	男性	女性	計
家族引取り	0	0	0
長期入院	0	3	3
施設内死亡	0	1	1
入院後死亡	1	8	9
その他	0	0	0
計	1	12	13

(6) 生活福祉受給状況

種 別	男性	女性	計
全面生活保護受給	0	0	0
医療費単独給付受給	3	4	7
計	3	4	7

(7) 要介護度等の状況

a. 要介護度の内訳

介護度	措置制度継続		介護保険後入所		計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
要介護1	0	0	0	2	0	2
要介護2	0	0	0	6	0	6
要介護3	1	0	3	15	4	15
要介護4	0	0	7	21	7	21
要介護5	0	1	3	17	3	17
計	1	1	13	60	14	61
介護度平均	3.00	5.00	4.00	3.80	3.93	3.74
総員介護度平均	3.77					
介護度4・5の占める割合	64.00%					

b. 障害高齢者の日常生活自立度

障害自立度	状況	男性	女性	計
J1	生活自立	0	0	0
J2		0	2	2
A1	準寝たきり	4	13	17
A2		6	15	21
B1	寝たきり	1	8	9
B2		4	16	20
C1		0	0	0
C2		0	6	6
計		15	60	75

c. 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症自立度	男性	女性	計
自立	0	1	1
I	0	1	1
II a	2	8	10
II b	3	9	12
III a	5	15	20
III b	2	11	13
IV	3	14	17
M	0	1	1
計	15	60	75

(8) 障害者手帳取得状況

種別	人数
1種1級	3
1種2級	7
その他の障害	3
手帳なし	62
計	75

(9) 年齢構成

年齢	男性	女性	計
65歳未満	0	0	0
65～69	1	0	1
70～74	1	1	2
75～79	3	5	8
80～84	4	7	11
85～89	1	22	23
90～94	2	14	16
95以上	2	12	14
計	14	61	75
平均年齢	82.5	89.1	87.9

2. 処遇の状況

【日常生活援助】

(1) 排泄 プライバシーの保全、尊厳を損なわない配慮をしながら援助

項目	日 中			夜 間		
	男	女	計	男	女	計
自立	0	11	11	0	11	11
トイレ誘導	13	41	54	1	9	10
ポータブル介助	0	0	0	1	8	9
尿・便器介助	0	0	0	3	0	3
オムツ	1	9	10	9	33	42
計	14	61	75	14	61	75

さりげなく、暖かく、しかも注意深くプライバシーを守ることを重視し、個々にあった援助を行っています。日々の対応で尿、便意がある方をケースミーティングに取り上げ、自立へ移行するように、職員の意思統一を図り努めました。また、コストダウンも考え、数社の紙おむつサンプルを取り寄せ、品質と価格の検討も行いました。今後も常に良い方法を考慮していきます。

(2) 更衣 残存機能と清潔保持に努めています。

項目	男	女	計
自立	0	3	3
一部介助	4	23	27
全介助	10	35	45
計	14	61	75

一部介助 衣類を準備し障害の程度に応じて介助する方

全介助 疾患により自ら行えない方

(3)洗面

項目	男	女	計
自立	2	11	13
一部介助	6	20	26
全介助	6	30	36
計	14	61	75

一部介助 洗面所に誘導し、タオルで拭ける方（声掛けを含む）
 全介助 タオルにて介助

(4) 口腔ケア 口腔清拭保持と状態観察

項目		男	女	計
自立		2	12	14
要 介 助	声かけ	1	6	7
	うがい	0	6	6
	義歯	8	21	29
	綿棒	0	0	0
	歯磨	3	13	16
	コットン	0	3	3
計		14	61	75

声かけ 声かけして歯ブラシに歯磨き粉をつけて促す
 洗 口 歯のない方はシンリング（すすぎ、うがい）を実施
 義 歯 職員が歯ブラシで洗浄，うがい介助，夜間はポリデント洗浄
 綿 棒 歯ぐきの弱い方，歯ブラシを痛がる方
 歯 磨 歯のある方で一部介助が必要な方
 ガーゼ ガーゼにて洗浄

(5)入浴 清潔保持とともに全身の状態観察を行い、心理的に満たされた入浴を楽しんでいただいています。

項目		男	女	計
自立		0	0	0
介 助	一部介助	4	20	24
	全介助	9	32	41
	清拭	0	0	0
	機械浴（ストレッチャー）	1	9	10
計		14	61	75

一部介助 洗う意欲はあるが不十分な方
 全介助 疾患により不十分な方
 （一部介助・全介助ともリフト浴利用者を含みます）

清潔保持と心身のリラックスのため、月～土曜日の入浴日を設定して、利用者1名に対し週2回の入浴を実施しています。入浴チェック表に基づき状況を把握し、ADLに合わせた入浴を実施し、個々の好みを尊重し、時間設定した対応をしてきました。

- (6) いわゆる問題行動 安全確認のもとにできる限り規制せず、自由を尊重し変化を観察してきました。

項 目	男	女	計
徘徊	1	4	5
異食	1	2	3
暴力	3	2	5
暴言・大声	1	5	6
帰宅願望	2	7	9
不潔行為	1	4	5
訴え	2	7	9
収集	0	8	8
自傷行為	0	0	0
拒絶	2	4	6
夜間せん妄	1	4	5
計	14	47	61

(上記表では重複コード含む)

当ホームにおいては、「障害は個性」ととらえ、日常生活介護にあたる際は「個性」と受けとめできる限り自由を尊重し、個人の流れに合わせた対応を行ってきました。しかし、声なき声をどう察知するか今後の課題として行きます。

- (7) 食事 暖かい雰囲気できゅっくり食べられるよう配慮しました。

項 目	男	女	計
自立	4	28	32
一部介助	8	20	28
全介助	2	8	10
経管栄養等	0	5	5
計	14	61	75

一部介助 スプーンや手づかみで口に運ぶが殆どこぼしてしまう方。

声かけして、口元にスプーンを持っていき、口をあけてもらう方。

全介助 食べる動作を忘れたり、動作ができない方。

食事は健康を維持するための栄養、毎日の活力のエネルギー源です。又何よりも日常生活の楽しみのひとつとなっています。その人に合った食事、その人の好む食事を目標にしてきざみ食や、ミキサー食などの加工をする他、食器などの工夫も行っています。「セレクトの日」で、好みのメニューを選ぶなどし、行事などで変化のある食事を提供しています。又、厚生労働省が定める、管理栄養士の配置、適時適温及び食事時間等の基準を満たしています。なお、「行事食メニュー」「食糧構成基準量と摂取量」は別記を参照。

(8) 移動・誘導 残存機能を活用し、個々に合った介助を行います。

項目		男	女	計
自立	歩行	1	6	7
	シルバーカー歩行器	1	4	5
	車椅子	3	5	8
要 介 助	誘導	0	3	3
	誘導(杖)	0	3	3
	車椅子(一部介助)	3	16	19
	車椅子(全介助)	5	19	24
	歩行介助	1	5	6
計		14	61	75

自立歩行 声かけのみで目的地へ行ける
 誘導 声かけし、職員と一緒に目的地まで行ける
 車椅子一部介助 移動のみの介助で、声かけで目的地まで行ける
 車椅子全介助 移動し、職員と一緒に目的地まで介助

【健康状況】

(1) 定期診察状況 ※診察のみ(診察処方)とで分けてカウントしております。

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
内科	71 (107)	59 (107)	68 (124)	71 (126)	55 (98)	71 (124)	67 (140)
整形外科	13 (6)	7 (3)	15 (8)	5 (3)	9 (7)	10 (8)	12 (7)
精神科	9 (13)	8 (14)	7 (10)	8 (14)	4 (7)	8 (12)	9 (10)
項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	25年度総数
内科	56 (119)	64 (111)	72 (128)	69 (124)	60 (124)	783 (1450)	2233
整形外科	12 (12)	10 (5)	15 (12)	14 (11)	18 (12)	140 (94)	234
精神科	2 (12)	6 (9)	7 (12)	6 (12)	5 (13)	76 (130)	206

(2) 健康診断状況とインフルエンザ予防接種

※定期健康診断は誕生月に1回実施

※インフルエンザ予防接種は、利用者全員に希望を伺う(入院中接種者除く)。希望者には南台病院下山医師による接種を実施。

季節型インフルエンザ接種者 66名

(3) 外来受診状況

診療科	内科		外科		整形外科		皮膚科		眼科	
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
件数	22	137	2	0	4	41	38	102	6	30
診療科	耳鼻科		歯科		婦人科		精神科		救急	
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
件数	0	0	140	606	0	2	1	13	3	9
診療科	脳神経外科		形成外科		泌尿器科		その他			
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
件数	3	5	2	6	10	5	0	0		

(4) 受診先医療機関(外部往診を含む)

医療機関名	件数	医療機関名	件数	医療機関名	件数	医療機関名	件数
南台病院	288	一橋病院	18	東大和病院	28	公立昭和病院	3
ハートフル歯科 (往診)	467	多摩総合医療セ ンター	30	西東京中央総合 病院	1	国立精神神経セン ター	11
松浦歯科(往診)	269	浅谷眼科	35	緑成会病院	1	けやき眼科	1
佐々総合病院	3	新山手病院	1	あかしあ脳外科	1	徳洲会病院	1
緑風荘病院	4	久米川病院	1	中野産婦人科	2	計 1,165 件	

(5) 入院期間

日数	0~7	8~14	15~30	31~90	90~	合計
男	1	3	2	1	0	7
女	6	4	13	14	0	37
計	7	7	15	15	0	44

(6) 入院患者病名

肺炎(19人)、脳梗塞、気管支炎、脱水、右大腿骨頸部骨折(2人)、左大腿骨頸部骨折、心不全、老衰、胆嚢炎、肺癌、栄養失調、誤嚥性肺炎(4人)、気管支肺炎、腎盂腎炎、尿管ステント交換、イレウス、胆管癌、尿路感染症、感染性胃腸炎、硬膜下血腫、S状結腸通過障害

【行事】

(1) 実施行事

実施月日	行事名	内容	実施場所
4月 3～7日	お花見 (4月行事)	近隣の公園にてゆったりと腰を降ろし、お茶とお菓子を頂きながら桜を観賞する。	南台公園
5月 6～8日	菖蒲湯	浴槽に菖蒲を入れ季節の行事を楽しむ。	ホーム内
5月8日	エステ	ハンド・フェイスマッサージでリラックスを図る。	ホーム内
5月12・18・ 20日	母の日	カーネーションを胸に写真撮影。フルートの演奏会と肩もみで親孝行。	ホーム内
6月2日	運動会	身体を動かし大声で笑い、心身の活性化を図る。	ホーム内
6月16日	父の日	お寿司を頂きながら映画鑑賞	ホーム内
7月 1～7日	七夕	笹に願を込めて短冊を飾る。	ホーム内
7月 13～16日	盆供養	祭壇を飾り、迎え火・送り火を焚き供養する。	ホーム内
7月 23・24日	流しそうめん	屋上にて涼を味わう。	ホーム屋上
7月 29～31日	緑茶湯	浴槽に緑茶を入れ、お茶の効能と香りを楽しむ。	ホーム内
8月18日	花火見物 (かき氷)	昼はかき氷、夜は西武球場の花火見物と夏の風物詩を満喫する。	東村山市廻田町
8月23日	ビアガーデン (夏祭り)	夏の暑さを吹き飛ばす行事として屋上に数々の屋台を出店し、御家族と共に楽しむ。	ホーム屋上
9月10日	ほのぼの館祭り	地域のイベントに参加し交流を図る。	ほのぼの館
9月15日	敬老会	敬老の日をセレモニーや祝い膳などでお祝いする。	ホーム内
10月9日	ハンドベル	芸術の秋をとして音楽鑑賞。甘いお菓子を食べながら生演奏を楽しむ。	ホーム内
11月 3・27日	お楽しみ行事	コンサートホールでの音楽鑑賞。近隣のスーパーで買い物をそれぞれ楽しむ。	ハミングホール 小平ダイエー
11月10日	小川ホームバザー	小川ホーム主催のバザーに出向き買い物や模擬店を楽しむ。	ホーム駐車場
11月 7～21日	作品展示会	レクにて作成した利用者の作品をホーム内に展示する。	ホーム内
12月22日	年忘れ会 クリスマス会	御家族を招待し、アトラクションや食事などで一年を労う。	ホーム内
12月25日	餅つき	年末恒例の餅つきを行い、つき立ての餅を頂く。	ホーム駐車場
1月1日	初日の出参詣 新年祝賀会	元旦の日の出を拝み、祝い膳とお屠蘇を頂き無事に迎えた新しい年を祝う。	ホーム屋上 ホーム内
1月2日	初釜	昔ならではの遊びを楽しみ、利用者の点てた抹茶を頂く。	ホーム内
1月5・12日	初詣	一年の祈願を神社に詣でる。	八坂神社

1月7日	獅子舞	小平こども劇場のボランティアの小学生が獅子舞を披露しに来園。	ホーム内
2月1日	節分	鬼の着ぐるみを着た職員に豆を投げ、福を呼び込む。	ホーム内
2月8日	アルパ演奏	ハープの美しい音色を観賞する。	ホーム内
3月2日	ひな祭り	雛人形を飾り、ひな祭りの音楽や踊りを楽しみながら甘酒を頂く。	ホーム内
3月31日	尺八演奏	尺八の演奏に合わせて懐かしい歌を唄う。	ホーム内

(2) 定例行事

- 誕生会 利用者の要望を伺い個別に誕生会を実施しました。
- 利用者懇談会 毎月利用者の意見や要望を伺うと共に連絡の場として実施しました。
- ホーム喫茶 ボランティアにより実施し家族や地域の方と親睦を深めています。利用者に喜ばれ、多くの地域の方が利用しています。
- クラブ活動 書道・華道・料理を実施し、ボランティアによるアロマハンドトリートメント・リフレクソロジー・ハーモニカ・朗読の会・お茶の会・踊りの会を実施しました。多くのボランティアのお力添えで行うことができました。
- 理容・美容 毎月理容1回、美容2回地域の理容師により実施しました。
- 嗜好品購入 生活協同組合「コープみらい」のカタログから、お菓子などの嗜好品を利用者が選び、配達を受けました。

【日用品支給状況】

日常生活に必要な日用品を支給しました。前年度のように定期的に支給するのではなく、必要に応じて、支給するようにしました。

日用品支給品目：ティッシュ・石鹸・歯ブラシ・ウエットティッシュ・歯磨き粉・ポリデント・髭剃り 他 各種A・B・Cセット

3. 研修生・ボランティアの受け入れと地域福祉

(1) 研修生の受け入れ

学校名	日数	人数	研修（実習）目的
武蔵野美術大学	31	25	教員実習に伴う介護体験
白梅学園短期大学	55	6	介護福祉士取得実習
東京医療秘書福祉専門学校	42	4	介護福祉士取得実習
日商簿記三鷹福祉専門学校	43	6	介護福祉士取得実習
昭和の森看護学校	8	8	看護実習
東村山市障害者就労支援	5	1	就労体験
東大和市立第三中学校	1	4	体験学習
小平市立第二中学校	4	3	体験学習
小平市立第五中学校	4	4	体験学習

(2) ボランティアの受け入れ状況

グループ名	内容
百合の会	衣類・タオルたたみ・話し相手・行事など
グループ宙	衣類・タオルたたみ・散歩・行事など
寿寿の会	衣類・タオルたたみ・散歩・行事など
あじさいの会	話し相手 (第2火)
個人	ホーム喫茶・クラブ活動・話し相手・おやつ食事介助・そうじ 尺八演奏・歌・ハーモニカ・理容・美容・買い物・お茶・絵手紙・書道・華道・車椅子修理等

施設の状況を説明し理解を求め、日常の業務を直接的、間接的に手伝って頂き大きな力になっています。積極的にボランティアを受け入れることで利用者の生活が拡大したかと思いません。

(3) 地域福祉

学校名	内容
たかの台幼稚園	年三回、園児達が来園し歌や手遊びを披露し交流をする。
小平市立十三小学校	五月と六月頃に民生委員の方と学校に訪問し、小学生とふれあいながら給食を頂き交流する。
二葉むさしヶ丘学園	施設行事の敬老会を通して園児の演技やプレゼントの交換等を行い交流する。また法人バザーや餅つきにも参加される。

福祉サービスを必要とする人たちが地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化に限らずあらゆる分野の活動に参加する機会を得ることができるよう努めています。

4. 各係

(1) 排泄係

日々情報収集や利用者の状況にあった排泄介助やオムツを検討しながら目標に取り組んできました。特に夜間の排泄においては睡眠状況を勘案した援助方法を検討し、快適な睡眠を追求して参りました。また自然排便を促せるような食材を提供するなど薬に頼らない援助も行い、必要な利用者だけ看護と連携し下剤の調整等を行いました。今後も利用者に負担の少ない援助提供やオムツの無駄使い削減できるような取り組みを目指して努力していきます。

(2) 入浴係

個々の利用者の身体状況、介護・看護双方のスタッフが協力し、日々の健康状態を観察し、安全だけでなく心身共に快適な入浴が提供できるよう取り組んで参りましたが、今年度は設備の不具合により業務改善を行いました。利用者には負担をかける場面もあり申し訳なく思います。次年度はより利用者の気持ちに寄り添った入浴に力を入

れて行きます。

(3) 食事係

利用者に美味しく・楽しく・安全に食事を提供できるよう、個々にあった食事形態の見直しや希望されたメニューを提供してきました。また義歯の紛失を防ぐための取組みを検討し、義歯の大切さと口腔衛生を意識するよう努めてきました。

(4) ケアプラン・機能訓練係

利用者が望む生活への実現と安全・安心・心地よい生活が送れるよう介護計画を検討して参りました。また定期的に勉強会を開催し、介護支援専門員自らも能力の向上に努めて参りました。

(5) 安全環境係

個々の利用者の状態や行動を把握し事故を未然に防げるよう対策を講じ、常に見直し周知できるよう転倒転落アセスメントシートを作成から体制改善に取り組んで参りました。また事故の危険性の高い利用者や事故件数の多い利用者のリスクカンファレンスを開催したり、研修を通し防止に努めました。

(6) ボランティア係

ボランティアの方々が継続して来ていただけるよう、意見交換や課題の改善に取り組む双方が有益な時間となるよう努め、施設内研究発表を行いました。また小平市社会福祉協議会主催の会合に参加するなど地域との交流を図り、他施設との情報交換も行い、利用者に戻元できるよう取り組んできました。

(7) 実習生係

係を中心に実習生への指導体制を見直し、職員全員で指導していく体制を構築しました。その結果、実習生においては様々な観点から援助技術等を学ぶことができると同時に、指導する職員についても援助の再確認しながら、責任を持って指導に取組みました。

(8) 整理係

利用者の安全のためフロアや施設等の修理・補修を行い、快適で安全な環境づくりに取り組んできました。また倉庫やスタッフルームなど乱雑になりがちな場所の整理整頓を行い、業務や行事が円滑に行えるよう努めました。

(9) サービスマナー係

利用者に適切なサービスが行き届くよう職員の育成に力を入れて参りました。2～3ヶ月毎の施設内研修を行ったり、アクティブ福祉にも参加し研究と一緒に職員間で統一した考えをもてるように試行錯誤しながら活動して参りました。

業務見直しプロジェクト

主任以上及び職員よりメンバーを選出して設置し現行業務を見直し、今後予想される利用者の重度化に対応できるように検討しています。

また利用者にとって出来ないケアは何かを検討することで、利用者の生活に視点を向けた内容も検討しています。

5. 栄養、給食関係
給与栄養基準量と摂取量

給与栄養基準量	給与栄養量	
	基準量	摂取量
エネルギー (kcal)	1450	1454
たんぱく質 (g)	58	59
脂質 (g)	33	33
カルシウム (mg)	680	675
鉄 (mg)	7.0	9.0
レチノール当量 (μg)	670	723
ビタミンB1 (mg)	0.90	0.73
ビタミンB2 (mg)	1.00	0.73
ナイアシン (mg)	10.5	14.1
ビタミンC (mg)	100	98
食塩相当量 (g)	7.8 以下	7.8
食物繊維 (g)	17	14
炭水化物エネルギー比 (%)	50～70%	62
脂肪エネルギー比 (%)	15～25%	20

給与栄養基準量	基準栄養量に対する 給与摂取量の比率
エネルギー 1450 kcal	100%
タンパク質 58 g	101%
脂質 34 g	100%

(平成 26 年 3 月分)

行事食メニュー (平成 25 年度)

月	日	行事	献立
4	4	桜祭り	桜ご飯、味噌汁、揚げ鶏の柚子胡椒みぞれかけ、新じゃがの土佐煮、ねりきり (桜)
	10	赤飯の日	赤飯、味噌汁、きすの揚げだし、かぼちゃの甘辛煮、浅漬け
	14	郷土料理の日	～広島県～ あなご御飯、きのこ汁、煮ごめ、もみじ饅頭
	17	お楽しみ献立	ご飯、清まし汁、刺身、かぶのそぼろあん、菜の花サラダ
	25	握り寿司	握り寿司、干瓢巻き、清汁、豆腐の海老あんかけ、小松菜のお浸し
5	5	端午の節句	散らし寿司、清汁、炊き合せ、プリン <間食> 柏もち
	12	母の日	鯛めし、清まし汁、茶巾盛り合わせ、しめじと青菜の和え物 <間食> チーズタルト
	16	お楽しみ献立	バターライス魚介のモルネソースかけ、コンソメスープ、カリフラワーのアボガドソース、苺レアチーズババロア
	20	赤飯の日	赤飯、清汁、鮭の照り焼き、炊き合わせ、青菜のごまよごし
6	2	運動会	<お弁当> 太巻き、生姜ご飯のおむすび、から揚げ、えびフライ、マカロニグラタン、ウインナー、シューマイ、ブチトマト、筑前煮、ねりきり
	12	赤飯の日	赤飯、清汁、鱈の香味焼き、厚揚げと野菜のくず煮、浅漬け

	16	父の日	散らし寿司、清汁、なめこ豆腐、小松菜の生姜和え（間）エクレア
	20	お楽しみ献立	ご飯、味噌汁、手作りコロッケ、炊き合わせ、オレンジ
	27	郷土料理	～三重県～ 魚御飯、一口伊勢うどん、帆立の千草焼き、あいまぜ、菜花のおひたし
7	7	七夕	三色そうめん、天ぷら、豆腐の蟹あんかけ、七夕ゼリー
	15	郷土料理の日	～長崎県～ ご飯、ぬっぺい汁、長崎てんぷら、和風サラダ、もずく酢
	18	お楽しみ献立	祭り寿司、冷しそうめん汁、かに豆腐、水まんじゅう
	22	土用丑の日	うな井、清汁、夏野菜の炊き合わせ、もずく酢
	25	赤飯の日	赤飯、豚汁、銀ムツの漬け焼き、筑前煮、海老と三つ葉のみぞれ和え
8	14	お楽しみ献立	ご飯、清汁、鶏肉のくずたたき梅ソース、冬瓜の海老あんかけ、クレープのフルーツ添え
	15	終戦の日	さつま芋ご飯、すいとん、メバルの煮付け、角天の炊き合わせ、しその実和え
	22	ビアガーデン	やきそば、お好み焼、焼き鳥、もつ煮、ソフトクリーム、ビール、ジュース
	24	郷土料理の日	～宮崎県～ 一口冷汁そうめん、チキン南蛮、ツナと大根の炒り煮、オレンジ
	30	赤飯の日	赤飯、味噌汁、銀だらの西京焼き、炊き合わせ、キュウリの酢の物
9	15	敬老の日	<松花堂弁当> 赤飯、お吸い物（もみじ麩、三つ葉）前菜（青菜のきのこ和え、菊花と胡瓜の酢の物、蟹の重ね蒸し、厚焼き玉子、甘味（さつま芋の抹茶茶巾、）炊き合わせ（六角里芋、亀椎茸、鶴人参、南瓜、魚河岸揚げ、絹さや）、焼き物（鶏肉の野菜巻き）天ぷら抹茶塩添え（小なす、オクラ、海老）
	23	秋分の日	さつま芋ご飯、清汁、紅鮭の柚庵焼き、かぶの海老あんかけ、春菊の菊花和え、<間食> おはぎ
	24	郷土料理	釜めし御膳～長野県～ 釜めし、なめこ汁、野沢菜のおやき、菊の酢の物
	26	お楽しみデザート	モンブラン
10	11	赤飯の日	赤飯、けんちん汁、鮭の幽庵焼き、巾着煮、酢の物
	15	郷土料理の日	～名古屋県～ ひつまぶし、清汁、みそ田楽、れんこんの煮和え
	17	お楽しみ献立	さつま芋ご飯、月見蒸し、満月大根、コンポート
11	5	赤飯の日	赤飯、清汁、鯔の粕漬け焼、厚揚げの煮物、ほうれん草のお浸し
	6	郷土料理の日	～鹿児島県～ 鶏飯（けいはん）、薩摩芋のいところ煮、海老と大根の柚香和え、和菓子

	15	お楽しみ献立	豚たま丼、清汁、炊き合わせ、もずく酢
	19	握り寿司の日	握り寿司、干瓢巻き、清汁、豆腐の海老あん、ピーナツ和え
12	13	郷土料理の日	～東京都～ 深川丼、清し汁、揚げ出豆腐、人形焼き
	19	お楽しみ献立	ターメリックライス、コンソメスープ、チキングラタン、パンプキンサラダ、生どら焼き
	22	年忘れ会	クリスマス弁当：太巻き、かんぴょう巻、サーモンの握り、チキンの照り焼き、海老とブロッコリーのフリッター、しゅうまい、さつま芋のツリーサラダ、浅漬け、一口ロールケーキ コーンかき玉スープ
	25	もちつき	もち（大根おろし、きな粉、あんこ）、きのこ汁、肉じゃが、梅肉和え
	31	年越しそば	ご飯、うなぎの蒲焼き、炊き合わせ、果物（りんご）、一口年越しそば、
1	1	正月	赤飯、お吸い物、おせち料理 一の重：伊達巻、干支蒲鉾、黒豆、数の子、栗きんとん、松竹梅羊羹、昆布巻 二の重：甘鯛の照り焼き、鶏の八幡巻き、紅白なます、海老の艶煮、サヨリの大根巻き 三の重：煮しめ（松大根、ねじり梅人参、紅白蕪のさつま揚げ、亀甲椎茸、穂先たけのこ、こんにゃく、六角里芋、ふき、絹さや
	2		お雑煮、鰯の西京焼、京風湯葉包みの煮物、白菜のお浸し
	3		ねぎとろ丼、野菜汁、揚げだし豆腐、京かぶらの千枚漬け
	7	七草粥	七草粥、厚焼き玉子、きんぴら蓮根
	15	郷土料理の日	～北海道～ ご飯、かしわぬき、鮭のちゃんちゃん焼き、炒り豆腐、かぼちゃぜんざい
	19	赤飯	赤飯、清汁、甘鯛のかぶら蒸し、茄子の肉みそがけ、菜の花のお浸し
	2	3 (昼)	節分
	3 (夕)		福ご飯、鯛つみれのキノコ汁、さつま芋のレモン煮、胡瓜とわかめの酢の物
	9	赤飯の日	赤飯、味噌汁、ぎんだらのもろみ焼き、つみれと野菜の含め煮、ほうれん草の海苔和え
	21	郷土料理の日	～静岡～ 桜海老のかき揚げ丼、味噌汁、静岡おでん、黒糖まんじゅうコンポート
	26	握り寿司の日	握り寿司、かんぴょう巻き、清汁、豆腐の海老あんかけ、小松菜のピーナツ和え
3	3	桃の節句	江戸散らし、清汁、炊き合せ、いちご杏仁 ＜間食＞ さくら餅、甘酒
	10	郷土料理の日	～新潟～ わっぱ飯、のっぺい汁、れんこんの白和え、菊花と若布の酢の物
	18	赤飯の日	赤飯、きのこ汁、赤魚の煮付け、ひき肉と春雨の炒め物、胡麻和え
	27	お楽しみ献立	鯛めし、清し汁、炊き合せ、浅漬け

短期入所生活介護 事業報告

1、25年度月別利用実績

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	件数 (件)	24	29	29	28	36	35	40	36	34	31	25	
延べ人数 (件)	28	24	23	21	26	23	20	28	23	15	22	25	278
延べ人数 (件)	227	247	216	250	259	275	298	285	271	249	230	247	3,054
1日当たり (人)	267	193	188	202	215	192	183	200	198	131	160	168	2,297
1日当たり (人)	7.6	8.0	7.2	8.1	8.4	9.2	9.6	9.5	8.7	8.0	8.2	8.0	8.4
1日当たり (人)	8.9	6.2	6.3	6.5	6.9	6.4	5.9	6.7	6.4	4.2	5.7	5.4	6.3
月平均稼働 率(%)	94.6	99.6	86.3	100.8	104.4	114.6	120.2	118.8	109.3	100.4	102.7	99.6	104.6
月平均稼働 率(%)	111.3	77.8	78.3	81.5	86.7	80.0	73.8	83.3	79.8	52.8	71.4	67.7	78.7

上段＝25年度 下段＝24年度

2、要介護度・年齢別利用者数

年齢	性	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計	構成比%
～64	男					1	1		2	6.1
	女								0	
	計					1	1		2	
65～ 74	男		1						1	9.1
	女					1	1		2	
	計		1			1	1		3	
75～ 84	男			1	2	2	1	1	7	45.4
	女				2	4	1	1	8	
	計			1	4	6	2	2	15	
85～ 94	男								0	36.4
	女			3	3	3	2	1	12	
	計			3	3	3	2	1	12	
95～	男								0	3.0
	女							1	1	
	計							1	1	
計	男	0	1	1	2	3	2	1	10	100
	女	0	0	3	5	8	4	3	23	
	計	0	1	4	7	11	6	4	33	

(平成26年3月分)

小川ホーム デイサービスセンター
事業報告

1、月別実績

	内容/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加数	予防	109	125	123	145	153	122	119	129	126	120	118	139	1,528
	介護	524	557	509	558	572	505	571	537	473	468	465	499	6,238
	計	633	682	632	703	725	627	690	666	599	588	583	638	7,766
	(24年度計)	543	534	556	574	619	561	645	615	582	566	555	633	6,983
新規	予防	0	1	1	0	3	0	2	1	0	1	1	2	12
	介護	3	8	1	1	4	1	2	1	3	2	0	2	28
	計	3	9	2	1	7	1	4	2	3	3	1	4	40
廃止	予防	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	4
	介護	6	6	5	1	5	4	2	2	4	3	3	3	44
	計	6	6	5	1	5	5	4	2	5	3	3	3	48
予防	運動機能向上	35	43	37	46	44	41	45	39	39	34	31	38	472
	口腔機能向上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	栄養改善	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入浴 (一般)	15	20	18	14	29	28	30	28	29	35	39	32	317
介護	機能訓練	143	154	104	98	81	71	74	85	89	76	46	24	1,015
	口腔機能向上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	栄養改善	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入浴 (一般)	165	202	169	215	192	182	197	180	159	148	161	169	2,139
	入浴 (機械)	65	76	66	64	86	81	100	76	62	81	75	74	906

2、要介護度・年齢別利用者数

年齢	性	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計	構成比%
～64	男								0	1.2
	女	1							1	
	計	1							1	
65～74	男			1					1	11.8
	女		3	1	2	2	1		9	

	計		3	2	2	2	1		10	
75～ 84	男	2		2	6		1		11	36.5
	女	3	1	9	2	2	2	1	20	
	計	5	1	11	8	2	3	1	31	
85～ 89	男		1	1					2	27.0
	女	4	3	7	4	1	1	1	21	
	計	4	4	8	4	1	1	1	23	
90～	男		1						1	23.5
	女	4	5	1	3	2	2	2	19	
	計	4	6	1	3	2	2	2	20	
計	男	2	2	4	6	0	1	0	15	100
	女	12	12	18	11	7	6	4	70	
	計	14	14	22	17	7	7	4	85	

(平成26年3月分)

3、移動方法別利用者数

移動方法		男	女	計
歩行	自力	13	49	62
	介助	2	12	14
車椅子	自力	0	4	4
	介助	1	10	11
計		15	75	91

4、地域別利用者数

地域名	男	女	計
小川町1	0	3	3
小川町2	0	0	0
小川西町	9	37	46
小川東町	4	13	17
栄町	1	2	3
上水本町	0	0	0
学園西町	1	6	7
学園東町	0	0	0
仲町	0	1	1
津田町	1	9	10
東村山	0	4	4
計	16	75	91

5、行事

行事名	春の外出行事
日程	4/8～5/15
場所	① 青梅 ②イトーヨーカドー ③昭和記念公園 ④薬用植物園 ⑤羽村動物園 ⑥食事
参加人数	66名
行事名	縁日横丁(暑気払い)
日程	8/5～10(かき氷) 8/12～17(すいか割り)
場所	活動室
参加人数	95名(延べ)
行事名	夏祭り(ピヤガーデン)
日程	8/22
場所	小川ホーム屋上
参加人数	利用者19名 家族13名
行事名	秋の外出行事
日程	10/4～11/27
場所	① 青梅 ②昭和記念公園 ③深大寺 ④足湯 ⑤多摩湖ドライブ ⑥食事
参加人数	58名
行事名	忘年会
日程	12/23～28
場所	小川ホーム活動室
参加人数	141名(延べ)
行事名	初詣
日程	1/4～10
場所	小平神明宮
参加人数	43名
行事名	作品展示会
日程	3/25～4/6
場所	活動室内
参加人数	91名(利用者全員・希望家族)

小川ホーム ホームヘルプサービス
事業報告

1、月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	133	133	136	136	132	136	139
延べ人数	1,420	1,497	1,400	1,686	1,566	1,462	1,626
1日当り	47.3	48.3	46.7	54.4	50.5	48.7	52.5
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	※24年度
件数	139	137	137	135	132	1,625	1,652
延べ人数	1,573	1,538	1,500	1,299	1,342	17,909	17,249
1日当り	52.4	49.6	48.4	46.4	43.3	49.1	47.3

2、要介護度・年齢別利用者数

年齢	性	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計	構成比%
～64	男		1		1				2	2.3
	女	1							1	
	計	1	1		1				3	
65～74	男	2		1	1				4	12.9
	女	2	6	1	1	1	2		13	
	計	4	6	2	2	1	2		17	
75～84	男	2	6	6	1	1	2		18	49.2
	女	10	15	9	3	4	2	4	47	
	計	12	21	15	4	5	4	4	65	
85～89	男		4		1	1	1		7	18.9
	女	4	6	5	2	1			18	
	計	4	10	5	3	2	1		25	
90～	男		1	1	1	1		1	5	16.7
	女	7	3	3	1	2	1		17	
	計	7	4	4	2	3	1	1	22	
計	男	4	12	8	5	3	3	1	36	100
	女	24	30	18	7	8	5	4	96	
	計	28	42	26	12	11	8	5	132	

(平成26年3月分)

3、地域別利用者数

地域	男	女	計
小平市	36	96	132
東村山市	0	0	0
計	36	96	132

(平成26年3月分)

4、サービス内容別実績

サービス内容		件数	延人数	サービス 時間 (時間)
予防訪問介護 i	週1回 1回1時間程度	43	176	177.5
予防訪問介護 ii	週2回 1回1時間程度	21	177	183.7
予防訪問介護 iii	週3回以上 1回1時間程度	6	70	78.2
身体介護 1	30分未満	15	136	65.0
身体介護 2	30分以上1時間未満	20	141	139.2
身体介護 3	1時間以上1時間30分未満	6	15	20.8
身体介護 4	1時間30分以上2時間未満	2	5	9.7
身体1生活1	30分以上1時間未満	8	47	44.2
身体1生活2	1時間以上1時間30分未満	2	6	9.0
身体1生活3	1時間30分以上2時間未満	0	0	0.0
身体2生活1	1時間以上1時間30分未満	2	5	6.8
身体2生活2	1時間30分以上2時間未満	2	2	3.7
身体2生活3	2時間以上2時間30分未満	0	0	0.0
身体3生活1	1時間30分以上2時間未満	1	9	17.8
身体3生活2	2時間以上2時間30分未満	0	0	0.0
身体3生活3	2時間30分以上3時間未満	0	0	0.0
身体1 夜	30分未満	1	15	7.3
身体2 夜	30分以上1時間未満	1	1	0.8
生活援助 2	30分以上1時間未満	11	156	98.5
生活援助 3	1時間以上1時間30分未満	38	380	388.5
合 計		179	1,341	1250.7

(平成26年3月分)

小川ホーム 介護計画センター
事業報告

1. ケアプラン作成件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	202	197	205	205	205	211	219
内受託	2	2	2	1	1	1	1
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	※24年度
件数	214	220	217	211	212	2,518	2,644
内受託	0	1	1	1	1	14	25

2. 要介護度別分類

年齢	性	支援1	支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
～59	男					1			1
	女						1		1
	計					1	1		2
60～64	男				1		1		2
	女						1		1
	計				1		2		3
65～69	男				2				2
	女			1	3	1	1		6
	計			1	5	1	1		8
70～74	男			2	2				4
	女			3	3	5	3	1	15
	計			5	5	5	3	1	19
75～79	男			6	7	2	3	2	20
	女			9	1	4	4	2	20
	計			15	8	6	7	4	40
80～84	男			9	10	2	4	1	26
	女			12	9	7	4	3	35
	計			21	19	9	8	4	61
85～89	男			4	4	3	3		14
	女			14	9	4	2		29
	計			18	13	7	5		43
90～	男			1	2	2		1	6
	女		1	9	7	6	4	3	30
	計		1	10	9	8	4	4	36
合計	男	0	0	22	28	10	11	4	75
	女	0	1	48	32	27	20	9	137
	計	0	1	70	60	37	31	13	212

(平成26年3月分)

3. 地域別利用者数

地域	男	女	計
小平市	75	135	210
東村山市	0	2	2
計	75	137	212

(平成26年3月分)

小平市 地域包括支援センター 小川ホーム 事業報告

1、 ケアプラン作成件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	319	327	323	322	323	325	324
内委託	53	59	57	57	55	52	54
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	※24年度
件数	327	336	334	345	342	3,947	3,790
内委託	53	54	57	61	60	672	612

2、 要介護度分類

	～59歳		60～64		65～69		70～74		75～79		80～84		85～89		90～		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
支援1	1	1	1	1	3	6	2	9	4	20	8	41	3	18	3	14	25	110	135
支援2	1	0	5	1	0	3	4	13	9	20	12	61	19	38	2	19	52	155	207
合計	2	1	6	2	3	9	6	22	13	40	20	102	22	56	5	33	77	265	342

平成26年3月31日現在

3、 相談実績

		相談件数 (件)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
相談 内 訳	自立支援サービス	当月相談者数	675	675	618	682	538	627	597	566	640	665	538	617	7438
		ヘルプサービス	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		給食サービス	9	9	0	0	0	0	0	1	0	3	2	1	25

相 談 内 訳	自 立 支 援 サ ー ビ ス	住宅改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
		福祉用具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		緊急通報・火災 安全システム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		おむつ支給等事 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		高齢者見守り事 業	16	16	16	20	16	18	16	20	32	16	14	16	216	
		その他の自立支 援サービス	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	5	
	介 護 保 険	施設サービス	10	10	75	7	7	10	5	4	5	5	5	3	146	
		在宅サービス	598	598	464	617	456	491	535	503	473	498	442	475	6150	
		地域密着サービ ス	0	0	3	0	0	3	0	1	0	1	0	0	8	
		申請等の相談	25	25	26	27	38	34	32	13	20	26	25	17	308	
	介 護 予 防 事 業	二次予防事業	3	3	16	0	6	63	1	5	39	1	10	82	229	
		一次予防事業	0	0	0	0	0	0	1	0	44	101	24	0	170	
	権 利 擁 護	地域福祉権利擁 護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
		成年後見	1	1	0	0	3	5	1	2	1	2	1	0	17	
		高齢者虐待	0	0	0	2	0	0	1	1	2	0	0	1	7	
		消費者相談	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	そ の 他	苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		安否確認・緊急 対応	4	4	3	1	1	0	0	0	5	4	0	0	22	
		ケアマネ・ケア プランの相談	1	1	5	2	1	0	1	3	1	1	0	5	21	
		医療関係	4	4	4	5	8	3	3	2	9	6	8	5	61	
		近隣住民に関す る相談	0	0	6	0	1	0	1	1	2	1	4	9	25	
他制度の相談		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3		
上記以外の相談		1	2	1	0	0	1	0	0	9	6	0	0	0		

相談件数（件）			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
予防給付	要支援1	予防ケアプラン作成	110	111	103	100	108	110	109	114	112	112	117	116	1222
		予防ケアプラン作成委託	13	21	18	18	16	17	20	17	19	17	22	19	217
		ケアプラン作成委託事業者数 （3月31日現在の数）	13	15	17	16	16	15	17	15	14	15	16	16	15
	要支援2	予防ケアプラン作成	158	157	163	164	157	160	163	161	169	167	166	166	1951
		予防ケアプラン作成委託	38	38	41	38	37	35	34	36	36	38	39	41	451
		ケアプラン作成委託事業者数 （3月31日現在の数）	29	31	32	31	30	28	26	25	26	28	30	27	29
介護保険申請件数			60	58	58	82	75	61	63	52	65	39	45	69	58
包括的・継続的ケアマネジメント事業（地域のケアマネジャーに対して）															
ケアプラン作成指導・個別指導・相談			2	1	1	3	0	4	3	0	0	0	1	1	16
困難事例への指導助言			1	1	0	0	0	0	5	1	3	0	0	0	11
サービス担当者会議・ケース会議			0	0	1	0	0	0	5	0	0	1	0	1	8
地域ケア会議＜個別ケース検討＞			1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	1	6
地域ケア会議＜地域課題検討＞			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0